

建築基準法において窓には、「人が建物内で生活していく上で必要最低限の採光、換気、火災時に排煙をするための必要な開口部として定め、居室面積に応じた大きさの窓の設置」が義務付けられています。これは、人が健康的で安全な生活を営めるよう考えられ制定されています。消防法においても火災時、安全に避難したり、消防隊員が救助するために必要な面積が定められており、法的に窓は非常に重要なポイントであることがわかります。ですが、法的に満足しているだけの窓に魅力を感じる人はほほいないでしょう。

『窓』は人の感性に訴える要素がある。

お部屋の窓から青い空が見えたり、青々しい木々から木漏れ日が入って来たり、素敵な夜景や夜空が見えたりと、外の世界を良く感じた時に幸福感を得る事があると思います。

窓越しに庭で遊んでいる子供の安全を確認したり、窓を開けコミユニケーションをとったりと、外の周辺環境だけでなく、人との関係をも繋ぐことのできる機能もあります。また、大きくお庭に開いた窓は、居室空間に解放感を与えてくれます。閉じた空間では感じることのできない様な感性を窓が教えてくれています。

『窓』を設計する。

いざ周辺住宅に目を向けてみると、レースカーテンを閉め切ってしまう、採光を得るだけの窓が非常に多いことに気が付き、法的な要件を満たすためだけに取り付けられた窓のようにも見えてしまいます。これは、プライバシーや防犯性を考えると、当然のことであり、仕方がないと考えている方も多いのが現状です。

しかし、設計士として一から注文住宅を設計していくのだから、感性に訴える『窓』をできる限り多く提案したいという思いがあります。

今回の設計でも、ご要望頂いた建築ボリュームを土地に載せていくと、土地自体の大きさや地区計画によるセットバック制限、電車

zuiun便り vol.43

『窓』の魅力。

・遮断機の騒音、隣地に対する配慮を考えると上記のような感性に訴える『窓』を設ける事は困難でした。そんな中、御施主様による追加のご要望で『大きな水槽が欲しい!』というお声を頂き、水槽を壁の中に取り込み『窓』として機能してもらうことを御提案しました。

『ネイチャーアクリウム』

ネイチャーアクリウムという言葉があり、水槽の中で水草や魚、エビ、微生物などを一緒に育て、それぞれの生物が共存し、自然界と同じような生態系を再現するといったものです。

ネイチャーアクリウムレイアウトコンテストという世界大会もあります。審査基準は「棲息環境の再現、長期維持の可能性、技術力、オリジナリティと印象度、自然感の演出、構図と水草の配植」の6項目あり、100点満点で採点します。調べてみると2015年、2016年と日本人がグランプリを受賞しており、美しい自然の情景を見事に表現しています。なんでも、水槽の中で上手く生態系が出来上がると、餌をやる回数や掃除の数も少なくなり、匂いも上がってこないでメンテナンスフリーだとか。

今回、住宅に設計させて頂く大きな水槽が、感性に訴える『窓』として、御施主様の心を癒してくれると信じて、このお家のコンセプトとしました。

御施主様は「水槽は大きければ大きいほどメンテナンスは楽になる!」と言い切っておりましたが、いざ出来上がると、世話をしているのか、少し不安でなりません(笑) その為、メンテナンスが楽になるよう最大限の配慮をさせて頂きました。

数年後、お子様が泳ぐプールになっていたり、新鮮な魚介類を入れる生簀になっていない事を祈るばかりですが：それはそれで少し面白そうです(笑)